

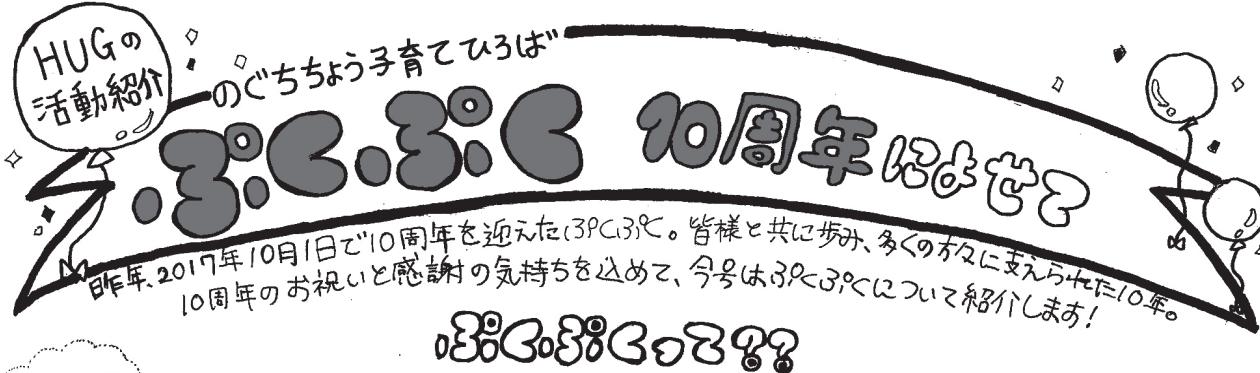
HUGフリ

<http://npohug.com/>

第29号
2018年7月



発行：NPO法人HUGこどもパートナーズ／TEL&FAX:050-3510-4587／E-Mail info@npohug.com



元は「10屋」
さん。大きなか
ラス恋が素敵。

10周年
平成19年10月にオープンした3PC。
昨年10周年に、新10日スタッフによる「読み聞かせ
の会」を開催しました。たくさんの方々の温かい言葉を
いただき、地域のひろばになった気がしました。
利用者の方々、地域の方々に支えられ、10周
年を迎えることができました。ありがとうございました。
これからも、「そのままを受け止め、一人ひとりが安心し
お互いさまの気持ちを育む、はじめの一歩を応援するひろば」
でありたいと、地域子育てに向き合っていきます。

アットホームな小さなひろば

ひろばでは、月曜～土曜日、10時～16時まで
“いつでも誰でも行ける”常設の小さな
ひろばです。その小さゆえ、利用者さん
同士がすぐ顔見知りになります。
人と人との関係が作りやすい小さな場所
です。

ベビーサロン

月2回、0才児のお子さんを持つ親向けのわらべうたと仲間
作りのサロウを開催。親子のふれあいソーラーになるよう、また
赤ちゃんのじと体の発達のために近い月齢を
持つ親同士の出会いの場として、
毎回多くの親子が集まってくれます。

名前の由来

「3PC」の愛称は、利用
者さんの投票で決まり
ました。赤ちゃんのイメージ
と、正福寺の「福」をかけています。

当事者が主役

毎月「3PCスタイル」を開催。ママのリフレッシュ・育児講座、親子の遊び、工作などを企画。準備の段階から利用者さんと一緒にイベントもあります。ママ、パパ、おばあちゃん、おじいちゃん、子どもたちと共につくるひろばであることを大切にしています。

のけらべ地域交流

3～6月、9～11月に毎週金曜日、
外遊びを実施。八国山の
恵まれた自然の中で
自由に、自由に、五感を感じて思いっきり遊び
ましょう！
また、3PCでは地域の方々の力をお借り
し、さまざまイベントに取り組んでいます。

おかけさ
よろしくあそびのひろば



提供会員募集のお知らせ



ファミリー・サポート・センターとは、育児の援助をしてほしい方と、できる方が会員となって、地域の中で子育てを支援する、たすけあいの活動です。このたび育児の援助ができる方（提供会員）の講習会を開催いたしますので、ぜひご参加いただき、活動を通して地域の子育て支援にご協力ください。

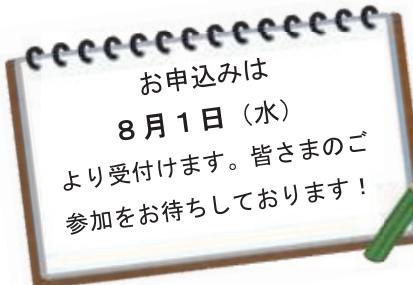
平成30年度 提供会員養成講習会日程表

| 日付 | 時間 | 講習項目 | 講師 |
|----------|---------------------------|----------------------|------------------------|
| 9/19(水) | 9:30～10:30 10:30～12:30 | 事業概要説明 子どものくらしとケア | アドバイザー 保育士 |
| 9/21(金) | 9:30～12:30 | 保育の心 子どもの事故と安全 | 佐々加代子氏 (白梅学園大学名誉教授) |
| 9/25(火) | 9:30～12:30 | 応急処置と救急対応(普通救命講習) | 東村山市消防署 |
| 9/28(金) | 10:00～12:00 | 身体の発達と病気 | 小保内俊雅氏 (医師) |
| 10/1(月) | 10:00～12:00 | 子どもの心の発達とその問題Ⅱ | 湯汲英史氏 (言語聴覚士) |
| 10/4(木) | 10:00～12:00 | 子どもの心の発達とその問題Ⅰ | 馬場教子氏 (臨床心理士) |
| 10/10(水) | 10:00～12:00 | 子どもの栄養と食生活 | 塚原浩子氏 (管理栄養士) |
| 10/12(金) | 10:00～12:00 | 小児看護の基礎知識 | 東村山市保健師 |
| 10/17(水) | 10:00～12:00 | 子どもの遊び | 大森靖枝氏 (劇団風の子) |
| 10/19(金) | 9:30～12:30 | 援助活動を円滑に進めるために | 提供会員・アドバイザー |

【場所】 東村山市地域福祉センター1階 地域福祉活動室 (所在地はセンターと同じ)

【定員・資格】 市内在住の20歳以上のかたで、提供会員として登録後に活動できる方、先着50名
特別な資格は必要ありませんが、提供会員の登録には本講習会の受講が必要です。

【参加費】 無料 (ただし、普通救命講習はテキスト代1,400円が必要です)



お問い合わせ・お申込みは、お電話または直接センターにお越しください

〒189-0022

東村山市野口町1-25-15 東村山市地域福祉センター2階
東村山市子育て総合支援センター ころころの森 内

Tel 393-5137 / e-mail famisapo@waltz.ocn.ne.jp

■ 今年度もHUGの活動がスタートして3ヶ月、いろんな活動「食ラボ」「子ども企画」では、メンバーチャンネル達と一緒に「ほん作り」をしたり、「カレーの会」では麺で味付け、重ね煮になど簡単に美味しいカレーを作つて食べたり。家や学校とはまた違う子ども達の一面も見ることができました。いろんな居場所が地域にあるといいですね。5月13日、富士見小で開催された「東村山子どもまつり」では、おなじみ「お好み焼きロール400個をHUGメンバーが無心で焼き続けました(笑)。駄菓子屋さんと子ども達も同じく、毎年子ども達に大人気。手作りパンのお試し販売もあり、今年も熱い一日でした。6月24日「憲法ってなんだっけ?平等権を考えよう!」講座を開催しました。基本的人権のひとつ、平等権がテーマ。自由の森学園の社会科教師菅間先生による授業には小学生から70代までまさに老若男女が集い、《自分のアタマで考える》体験をしました。「憲法」と聞くと敷居が高い感じがしますが、例えば「電車には《女性専用車両》のみで男性専用がないのは差別?など、具体的な例で男女平等を考えるとぐっと身近になります。時代によっても変わる私達の認識: 答えのない問いを自分で考えるおもしろさが味わえる時間でした。ちなみに「世界男女格差ランクイング」で、日本は141位。先進国の中では断トツの下位: (泣) ■ 今年も7月22日 大岱稻荷公園「おいなりサマー」に出店します。サンバや音楽と共に自慢のジャージャー麺」をご賞味ください! 再び熱い日になりそうですね。

雑記報

受け継ぐ暮らしと 地域での子育て

R.Kさん (野口)

長男 34 歳 長女 31 歳 次女 28 歳

私の子育ては、そんな新規地域の中で始まりました。両親と夫の住む家はお風呂は薪で炊き、たつは練炭でした。薪割もやりましたよ。最初の妊娠をきっかけに義母がガス風呂や電気こたつにかえてくれました。出産は3人とも市内にあった山路産婦人科で。上2人のときは出産後に里帰りしました。

産後ひと月ほどで東村山に戻ると、お隣のお産婆さんのおばあちゃんが毎日お風呂に入れ

す。みんなでお料理を作つたりしながら、お互
い知りあつてきました。正月、お盆、お彼岸に
はお参りに本家を回ります。我が家にも夫の両
親の仏壇があるので17、18人は寄つてくれます。
地類のつながりもあり、例えば八坂神社の礼
祭では山車の通り道にお酒洒所ができるのです
が、つい最近まで町ごとにふるまい料理やお酒
の準備をしました。大きな鍋でみんなでたくさ
ん作ると本当においしい！衛生面の問題で今
は購入したものになりましたが、顔を合わせて
作業をしながら縁をつないでいるのだなあと思
います。お葬式の手伝いをしあつたり、七五三
など子どものお祝い事に訪ねたりします。

習っていました。長男はサッカーも、送り迎えもしましたが、義母や近所の支えがあつたので、今、全部自分でやらなければいけないママ達をみてはいるが、本当に大変だなあと思います。

長男が生後8ヶ月のときには義父が亡くなり家でお葬式を出したのですが、親戚が寄れるように家具を移動し、もう引っ越す状態。料理だけではなく、枕団子や線香の番などのしきたりもあり、これは大変でした。1年間続く法事(?)とも

とてもいい人だったし子どもをみてくれたのでそれほど苦になりませんでした。夫は役所勤めで帰宅が早く子どもの相手をしてくれました。思い返すと特に赤ちゃんの頃は近所の義母の友達とか親戚や地類の知り合いなどいろんな人の手を自然に借りていましたね。

大きくなつてると毎日毎日、弁天公園へ行って遊びました。家の横の空き地やそばの公園は家から見える距離だったので放つておけたし、周りは親戚や知人ばかりなので、どこの子もみんな行き来して遊んでいました。お互いの家に上がり込んでいることもしょっちゅうで、地域で育つたといふことなのかなと思います。

ています。ご縁もたくさんあります。お仕事に声をかけていたステイを受け入れたことで子興味を持つて、留学したり…より東村山在住期間のほうが長くなりました。

みを作り、漬物作り、梅干し作り、天ぷらや料理を東村山で覚えました。子どもをおんぶしながら大豆をつぶしたり、88本の大根を干してたくあんも作るし、白菜漬けも大きな樽で作ります。手仕事は楽しいので今も続けています。

また、地域のボランティア活動や、インディペンドンス市のホームステイ受け入れも20年近く続けてきました。

「一族や地類のつきあいや家の仕事は大変では?」とよく聞かれますが、実家も人の出入りが多い家だったせいか、人が来てくれるところが嬉しかったし、何より人との出会いについて本当にすばらしく、東村山でのたくさんの出会いによ

♪♪く♪♪くスタッフからのメッセージ～ 哭く哭くとわたし

才

ふくふくが始まる時にスタッフになり、今に至ります。10年前の私には年長と年少の子どもがいて、自分も一緒に悩みながらやってきました。現在の私はと言うと、ほぼ親戚のおばちゃんの気持ちです。田舎に帰ると「あらー元気だった？」と声をかけてくる親戚のおばちゃんです（笑）ママ達が赤ちゃんを産んで、地域と初めて出会う場所が『子育てひろば』だと思います。初めての子育ては、本に書いてあるようなきれいな事だけではなく、楽しい時もあれば、辛い時も不安な時もあります。そんな時にふらっと立ち寄れて、ママ同士しゃべったり、スタッフと話したりして少しでも気が晴れる場でありたいと思ってます。そして私はこれからもいつも変わらずそこにいるほぼ親戚のおばちゃんでいたいなあと思っています。

سالہجہ

『子は鎌(かすがい)』という言葉を知っていますか？
最近になってようやくこの“かすがい”が材木と材木をつなぎとめる大きな釘だと意味を知りました。

ぶくぶくには、今日もこの“かすがい”さん達がご両親とやってきます。そしてまさにかすがいのように、自分のママ（またはパパ）と、お友達のママや地域の方たちとをつなげていく様子をこのぶくぶくで体感しています。はじめは一つ一つの木材がつながり、それが家になり地域やまちが出来ていくように、共に笑って(たまには泣いて)、皆さんのがお子さんと先へその先へと大いに歩んでいくお手伝いが少しでもできれば、私は本当にほんとうに嬉しいのです。

マツオヤ

私にとってふくふくは、"一期一会"の場所です。ふくふくというハコの中で、利用者さん、スタッフ、イベントのある時はゲストのみなさんの顔ぶれはもちろん、作り出される雰囲気もその日その時でいつも違う。「今日はどなたに会うのかね、初めてのわたくわればしくも、また来てく

云えるかは、初めてのかにもおなじみさんも、また来てくれたらしいな～」という気持ちでお迎えしています。オープン当初から今までの、その時々のスタッフや利用者さんが築いてきた温かい雰囲気を大切に、過ごす時間をより心地よく、育児のしんどさを少しでもやわらげ、そしてより楽しめるようお手伝いできたらと思います。

クマキ

子どもが産まれ誰も知り合いがない東村山に越して来た関西出身の私にとって、ぼくぼくは最初にできたホッとできる場所でした。それから子どもが幼稚園に入り縁があり働くことになりました。大切にしていることは「受け入れる」ことです。私自身がどんな事もぼくぼくに受け入れてもらいとても救われました。これからもありのままを受け止め、一人ひとりが安心し思いやりのあふれる場所であることを大切にしたいです。

フジイ

ふくふくは私にとってパワースポットになっています。
それはなぜかというと…

- ①素敵な親子が集まり、
 - ②有益な情報が入り、
 - ③みんなつながりを持てるからです。
もしかしたら、この3つはsns等で手に入るかもしれません。
でもパワーがもらえるのは断然ぷくぷく！
ママやお子さんの顔を間近で見て、気持ちや空間を共有できると力が湧いてきます。自分が数年前奮闘しながら子育てしていたことも振り返りながら過ごさせてもらっています。1人で抱えこまないで、「自分だけじゃない」とか「これでいいんだ」とか安心感と明日への活力がもらえる…そんなパワースポットぷくぷくとしてこれからも笑顔でお待ちしています。

カシタ

ぷくぷくとは、ベビーマッサージの講師としてお手伝いをさせてもらったのが出会いでした。とってもアットホームでスタッフも利用している親子もとても温かく、やさしい空気が流れている印象を受けました。

焼けて、も日本で実現しました。そして3年前、スタッフとして仲間に入ることになり、この素敵な雰囲気を大切にしていきたいと思い、今に至ります。日々、かわいい子どもたちの成長を感じることができたり、ママたちの子育ての話を聞いたりするなかで、たくさんのエネルギーと幸せな時間を私自身がもらっています。

そして、私にとってもう1つの幸せ。それは、スタッフがありのままの私を受け入れて、苦手なことを助けてくれたり、いつも褒めてくれることです。私にとってぱくぱくは、私を受け入れてくれた仲間との出会いとたくさんの人をつなげてくれた幸せいっぱいの居場所です。

モリシタ

私にとってぶくぶくには楽しみがたくさんあります。今日は誰が遊びに来てくれるだろう？から始まり、いつも来てくれる子のちょっとした成長や、久しぶりに会った子の目を見張る成長も。それに、ママ達と子育て以外のたわいもないおしゃべりに、次のイベントはどんな事をしようかなどなど…。来てくれたママ達には、日頃がんばっている子育てからほんの少しでもほっと一息つける場所であってもらえると嬉しいです。これからも、喜びや楽しみ、悲しみや不安に寄り添い、ママ達の子育てを応援していくならなと思います。



特集

東村山市のぐちゅう子育てひろば ふくふく
10周年によせて 2017年10月